

## テーマ：windows10 「高速スタートアップ」を巡る話題

### 1. 高速スタートアップとは

- ・起動時間を短縮するためにWindows8から導入された機能
- ・デフォルトでこの機能が設定されている
- ・スタートアップ高速化の理屈

#### 1) 通常のスタートアップ

PC電源ON → OSの読込 → 初期化 → ログイン

#### 2) 高速スタートアップ

PC電源ON → hiberfil.sysファイル読み込み → ログイン

hiberfil:hibernation fileは電源off時に作成される。



のプロセスで高速化される。

## 2. 高速スタートアップの効果

### 【検証時に使用したパソコン】

- ・ OS:Windows10
- ・ CPU:Intel Core-i5-6500 3.2GHz
- ・ メモリ : 8GB
- ・ ドライブ : Cドライブ(SSD)、Dドライブ(HDD)
- ・ ビット数 : 64bit

HDDの方が効果大

	1回目	2回目	3回目
高速スタートアップ 有効	2.2秒	1.6秒	1.8秒
高速スタートアップ 無効	2.2秒	2.2秒	2.1秒

### 3. 高速スタートアップでの問題点

- 1) パソコンシャットダウン時に若干時間が掛かる  
∵ hiberfil.sys (非常に大きなファイル) が作成 (更新) される
- 2) パソコン起動時に F2 キーなどを押し、BIOS の設定画面を開くことが出来なくなる。  
∵ 通常の Boot sequence を通らない
- 3) Windows Update の更新プログラムがうまく適用されないことがある
- 4) USB 機器 (USB メモリなど) が、認識されなかったり不具合が起きる場合がある。特に USB 機器が 1.1 などの古い規格で起こりやすい  
∵ ハード構成が変更された場合、hiberfil.sys に未反映
- 5) インターネットが突然繋がらなくなることがある
- 6) 1 台の記憶装置 (HDD や SSD など) を共有して、複数の PC で使用している場合は、データが消えてしまったり、片方のパソコンが認識しなかったりする場合がある



高速スタートアップは外しておいた方が良い！！

# 4. 高速スタートアップ設定の解除方法

システム設定

コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > 電源オプション > システム設定

電源ボタンの定義とパスワード保護の有効化

コンピューターの電源設定を選択できます。このページの設定に対して行う変更は、お使いのすべての電源プランに適用されます。

現在利用可能ではない設定を変更します

電源ボタンとカバーの設定

バッテリー駆動      電源に接続

電源ボタンを押したときの動作:      スリープ状態      スリープ状態

カバーを閉じたときの動作:      スリープ状態      スリープ状態

シャットダウン設定

- 高速スタートアップを有効にする (推奨)  
これにより、シャットダウン後の PC の起動時間が速くなります。再起動は影響を受けません。[詳細情報](#)
- スリープ  
電源メニューに表示されます。
- 休止状態  
電源メニューに表示されます。
- ロック  
アカウントの画像メニューに表示されます。

変更の保存      キャンセル

**チェックを外す**

## 5. コンパクトOSによるスタートアップの高速化

- HDDから起動するPCにおいて効果大？
- DISC (File)を圧縮し、起動時におけるHDDからのデータ転送量を少なくする = 高速化
- CPUでデータ伸長しなければならないため、その処理時間が必要。従いCPU能力低ければ立ち上がりが逆に遅くなる場合も有り！！
- SSD PCは効果は期待出来ない？
- コマンドプロンプトで圧縮を行う



**Disc 圧縮はやはり Disc 拡張が本来の目的？！！**

**スタートアップを早める正攻法**

**<https://www.pc-koubou.jp/magazine/21462>**

<おまけ>

**USBメモリによるHDD PCの高速化**

**USBメモリをHDDキャッシュのように使う「Ready Boost」**

**<https://reneeds.net/2019/04/18/readyboost/>**